



と う な ん し く つ

当難勿屈

山形市立高楯中学校
学校たより
令和2年
10月20日発行

被爆ピアノ平和コンサート開催 ～平和への祈りをこめて～

10月9日（金）PTA共催事業として、「被爆ピアノ平和コンサート」が行われました。3年生にとっては2年ぶり、1、2年生にとっては初めての演奏会でした。戦後75年という節目の年に苦難を乗り越えて蘇ったピアノの音色を聴くことができ、貴重な体験になりました。今回演奏に使われた「ミサコのピアノ」はピアノ調律師である矢川光則さんが、15年前にみさこさんという女性と出会って、譲り受け、修復したものです。このピアノは今から75年前に広島で被爆したピアノです。1945年8月6日、世界で初めて原爆による攻撃を受け、当日だけで約7万8千人の人が死亡し、5万1千人の人が行方不明となったという広島にみさこさんの家がありました。爆心地より1.8kmの場所にあったそうです。ピアノには被爆した際に受けたガラスの破片が突き刺さった跡が残っていました。いかにすさまじい爆発だったのかがわかります。生徒もくいいるようにピアノを見ながら、当時の惨劇に思いをはせていました。

当日は保有者である矢川さんからお話を頂き、ピアニストである小林路子さんより八曲の演奏をいただきました。また、体育館の片隅に戦争当時のことが分かる様々なパネルを展示いただきました。平和について考える良いきっかけとなりました。



矢川さん



【生徒の感想から】

今回、一昨年ぶりに被爆ピアノ平和コンサートを聴いて原爆による
広島の被害のことを改めて知ったとともに、……略……

また、詩の朗読をやらせてもらったことで、その悲惨さを認識しました。役に立つものが軍事転用されたことで生まれてしまった核爆弾。
平和であるために、これ以上使われない社会が続いて欲しいです。

（3年東海林 拓斗くん）

昭和七年につくられ、被害に遭ったにも関わらずとてもきれいな
音色をピアノは響かせていました。原爆の威力はピアノの傷と被災
地の当時の写真の数々が物語っていました。……略……

改めて平和であることの尊さと、これからの世界の平和を願っ
ていこうと思いました。

（3年斎藤 大輝くん）

私の亡母も子供のころ（戦時中）、東京に住んでいたとき、空襲に遭い、あと5mずれていたら機銃掃射的になっていたといっていました。もし、当たっていたら、私はこの世にいなかったということですね。平和の大切さを感じます。

教頭

たくさんの方が亡くなり、町を破壊していった戦争、原子爆弾の中で残った被爆ピアノ。その音色はとても力強く美しかったです。被爆ピアノが物語っているように戦争の悲惨さ、記憶を私たちは語り続けていかなければならないと思いました。……略……私たちは戦争の場にいたわけではありません。だから自分から学び、過去についていこうとすることが私達にできることだと思います。また、被爆ピアノの演奏を聞いたことに感謝です。（3年沼澤 郷さん）

特別でとびきりの修学旅行

Best Experience in 東北

9/15 (火) ~ 17 (木) に三学年が修学旅行に出かけました。様々な制約がある中でしたが、岩手・宮城方面で東北の秋を思いきり満喫することができました。実行委員会を中心にきまりや持ち物等についての話し合いを重ね、当日は最高の思い出を残すことができました。また、添乗員の方からは「とても素敵な生徒さんですね。バスの中で歌ってくださった校歌にとっても感動しました。こんなに涙ぐんで感動した添乗は初めてです。」という言葉をかけて頂いたり、バスの運転手さんからも次のような内容のお手紙を頂戴したりしました。

「旅先での見学場所、宿泊先での皆さんの礼儀正しさ、時間をきちんと守ること、何よりも皆さんの爽やかなこと、添乗員一同感動しました。また、私たちにまで手作りのしおり、紅花をいただき、ありがとうございました。嬉しさに涙ぐみそうになりました。そして皆さんの地元を大事にしている気持ちが感じられました。私たち乗務員も思い出に残るいい生徒さんでした。(一部略)」

あらためて高楯中生の心のあたたかさ、周りを気遣う優しさ、郷土愛に感動しました。



えさし藤原の郷にて



貌鼻溪舟下り

地域探訪 地元について知ることから始めよう

10月13日(火)、毎年恒例の地域探訪の学習が行われました。1, 2年生が縦割りの班をつくり、高楯地区内の名所旧跡や文化施設、お店や農場などに出かけました。見学やお話を通して地区の歴史や文化、産業などについて学び、地元について深く知る機会となりました。これをきっかけに、更に地元について関心をもち、高楯地区の良さを再発見してくれたらと思います。



福祉体験 これからの時代を見据えて

3年生は、地域探訪の行われた10/13体育館にて、社会福祉協議会の佐藤さん、県リハビリセンターの職員の方を講師としてお迎えし、視覚障がい、聴覚障がいの疑似体験、車椅子の体験を行いました。この様子は山形新聞(10/19)にも紹介されています。「障がいのある人もない人も共に生きる社会」を目指して、真剣に考えるきっかけとなりました。

市中新人大会での活躍

9月26日(土)、27日(日)の両日、山形市中学校新人体育大会が各会場で行われました。今年度はコロナ禍の中で中学総体が中止となりました。新人大会も開催が危ぶまれましたが、関係諸機関の協力、保護者の皆様のご理解の下、大会を行うことができました。各部は下のような決意の言葉を胸に秘め、全力で戦うことができました。選手数が足りず、大会運営の手伝いに力を貸してくれた部もありました。



【市中新人大会】

【県中新人南ブロック大会】

(剣道)

1年 高橋 真生 ベスト16
 遠藤 さつき ベスト8
 2年 武田 怜紋 ベスト16
 以上、県南ブロック大会出場

ベスト16
 ベスト8
 第3位
 以上、県決勝大会出場

新しい学習指導員の先生です。

岸 菜桜子先生です。

10月より学習指導員として、皆さんの学習サポートをしてもらっています。安孫子先生同様、勉強についてたくさん質問してください。期末テストも近いですからね。メインは国語ですが、数学・英語・理科・社会・音楽も大丈夫ですよ。



高生生の明るさに元気付けられ、毎日楽しく過ごさせていただいています。音楽が好きなので、1/27の合唱コンクールも楽しみです。主に国語の授業にお邪魔していますが、教科を問わず気軽に質問して、話しかけてもらえると嬉しいです。半年間よろしくお願いします。 岸 菜桜子

ちょっとブレイク

10月は「神無月」(かんなづき、かみなづき)ともいわれます。いわれとして、伊勢神宮にいる天照大御神以外の神々が出雲に集まって翌年について会議をするので出雲以外には神がいなくなるという説があります。しかし、これは平安時代以降の後付けだそうです。現在、有力な説の一つは「無(な)」は「の」の意味で「神の月」というものだそうです。日本語には美しい言葉がたくさんあります。皆さんはすべての月の名称をいえますか？ ちなみに12月は何といいますか？

いよいよ、合唱コンクールです。

10月27日の合唱コンクールが近づいてきました。

「^{きょうしやうがっけつ}響唱楽結 ～^{おと}結ぶ想いと紡ぐ声～」の
スローガンのもと、各クラスとも朝、放課後の練習にも
熱が入っています。

会場は山形テルサですが、今年度は新型コロナウイルス
感染症拡大防止の観点から、保護者の入場について、制限
をかけさせていただいております。大変申し訳ありません
が、ご理解・ご協力をお願いします。



11月の主な行事予定 部活動

11月より部活終了時刻が17:15 完全下校 17:30 となります。

1	日	
2	月	避難訓練
3	火	文化の日
4	水	5時間授業(水①～⑤) 部活なし
5	木	生徒会立合い演説会・投票
6	金	3年親子進路研修会
9	月	後期時間割スタート
11	水	後期生徒会役員任命式
12	木	5時間授業(木14火134) QU
14	土	やまがた教育の日
16	月	生徒会専門委員会
18	水	校内研究授業
23	月	勤労感謝の日 テスト前部活停止
25	水	期末テスト1日目
26	木	期末テスト2日目
30	月	地域ボランティア(カードづくり)

いよいよ、生徒会が3年生から1, 2年生に引き継がれます。高楯中の良さを伝えていきましょう

山形県公立高校入学者選抜実施要項説明会を受け、R3年度の高校入試について3年生と3年生保護者が学校で説明を聞きます。

10/19(月)、山形市教育委員会よりたくさんの先生をお迎えして、高楯中の授業のようすを見て頂きました。18日は1年社会、2年理科、技術・家庭の授業を見ていただきます

最近の高楯中生のようす(生徒会高中会議からのコメント)

【成果】

- ・ 普段から元気な挨拶をしてくれる人が増えた。
- ・ JRCの精神で「気づき、考え、行動」できた。
- ・ 相手の良いところや感謝の気持ちを伝えることができた。
- ・ 全体としてはメディアの時間が減っている。
- ・ 清掃への意識が向上している。
- ・ どのクラスも給食室に来る時間が早くなった。

(課題)

- ・ ノーメディアができていない人の差が大きい。
- ・ 1部の人だが挨拶の声が暗い。
- ・ 生徒同士の挨拶が少ない。
- ・ 忘れ物が多い。
- ・ 各委員からの声かけが少ない。

